

菱濤館の成り立ち

この建築は、大正6年（1917年）に三菱合資会社の中央製錬所として操業を開始した現三菱マテリアル直島製錬所の、昭和13年に建設された元所長社宅。老朽化に伴い、製錬所創業100周年記念事業の名の下改修が履行され、平成24年3月に竣工した。三菱の「菱」と瀬戸内海の波「濤」から「菱濤館」と命名。現在は、賓客の接待や会合等に利用されている。

開催時間

- 第1部 9:30～11:00
茶席と午前の演奏会
- 第2部 10:30～12:00
午前の演奏会と茶席
- 第3部 13:00～14:30
茶席と午後の演奏会
- 第4部 14:00～15:30
午後の演奏会と茶席

各部先着30名様限定

30名様を越えますと、次の部への振替もしくはお断りすることがございます。
※合間に菱濤館をご見学ください。
催しを含め写真撮影はご遠慮下さい。

茶席席主：吉元宗正（よしもと 正人）
東京藝術大学美術学部彫刻科卒業。裏千家専任講師。菱濤館改修総合ディレクター。桜葉苑設計制作、鷺ノ松運動公園の建築と庭のデザイン等を行う。
彫刻制作、作庭、空間デザインを生業とする。岡山市文化奨励賞（芸術部門）、岡山着物文化人着物博士受賞。毎月の自宅茶事をライフワークとしている。



演奏会演目

ロンドンデリーの歌 アイルランド民謡
見上げてごらん夜の星を いずみたく
星めぐりの歌 宮沢賢治
ヴァイオリンとチェロのためのソナタ
ラヴェル 他

ヴァイオリン：近藤浩子
東京藝術大学附属音楽高等学校、同大学音楽学部卒業。東京フィルハーモニー交響楽団を経て2004年から岡山へ移住。2006年より岡山フィルハーモニック管弦楽団コンサートマスターを務める。オーケストラ・室内楽・ソロ等の演奏活動と教育活動を行っている。2020年岡山市文化奨励賞（芸術部門）受賞。現在、岡山大学非常勤講師、成人病予防協会健康管理士、演奏団体OACMS（オークムス）代表。

チェロ：三宅 進
桐朋学園大学卒業。米国インディアナ大学アーティスト・ディプロマコースに留学。新ヴィヴァルディ合奏団、群馬交響楽団首席チェロ奏者、イソ弦楽四重奏団チェリストを歴任。2013年公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団ソロ首席奏者就任。武蔵野音楽大学講師。音楽監督を務める仙台市宮城野区文化センター主催の室内楽シリーズ「Music From PaToNa」が2015年第4回サントリー&ウィーンフィル音楽復興記念賞を受賞。

※上写真は、昨年開催した直島女文楽とのコラボレーション企画「和洋折衷、和衷協同」から。

※ 車は鷺ノ松運動公園駐車場に駐車して下さい。



菱濤館茶室ミニ情報

茶室は熊本製畳表の十畳広間、広縁に十五畳の琉球畳を敷延べている。障子は御所にも貼られている美濃紙。本間天井は幅広の土佐杉、広縁天井は手編みの亀甲綱代を巡らせている。床の間の長押には二間半の角胡麻竹を用い、床の土壁は微妙なグラデーションで瀬戸内遠景を表現した。素材にこだわった茶室空間と窓からの景色をご堪能ください。